

平成29年10月19日

海外炭の共同輸送の実施について

宇部興産株式会社
中国電力株式会社

宇部興産株式会社（社長：山本 謙）および中国電力株式会社（社長：清水 希茂）は、このたび、海外炭の共同輸送を実施することとしましたのでお知らせします。

今回は、山口県および両社を含む港湾利用企業7社が出資するやまぐち港湾運営株式会社（社長：弘中 勝久）を本年9月に設立後、初の共同輸送となります。

本件は、石炭共同輸送による輸送コストの低減を目的として、積出港、輸送時期および必要量等の調整を行った結果、インドネシア炭の共同輸送について合意に至ったものです。

今回の取り組みが、物流コストの低減を図る瀬戸内エリアでの「国際バルク戦略港湾^注」の整備・推進に資することを期待しています。

【今回の共同輸送の概要】

積 地	インドネシア・バンジャルマシン沖
出 発 日	平成29年12月～平成30年1月（予定）
揚 地	宇部港
到着時期	平成30年1月（予定）
輸 送 量	約7万トン（宇部興産約5万トン、中国電力約2万トン）
輸 送 船	8万トン級パナマックス船

注 貨物の大量輸送による産業の国際競争力強化を目的に、国内の港を選定し集中的に整備するとともに、共同輸送などの企業間連携を促進する取り組み。石炭では徳山下松港・宇部港などが選定。

以 上

(添 付)

参考資料：共同輸送に至った経緯と今後の取り組みについて

(問い合わせ先)

宇部興産株式会社 経営管理室 I R 広報部
中国電力株式会社 地域共創本部 報道グループTEL : 03-5419-6110
TEL : 082-544-2846

参考資料

共同輸送に至った経緯と今後の取り組みについて

1. 共同輸送実施に至った経緯

平成23年5月に「徳山下松港・宇部港」が国土交通省の「国際バルク戦略港湾※」に選定された後、両社を含む港湾利用企業が設立した「山口県国際バルク戦略港湾連携協議会（以下「協議会」）」、および山口県と協議会メンバーが今年9月に設立した「やまぐち港湾運営株式会社」において、企業間連携による効率的な海外炭物流体制について検討を進めるなかで、両社の認識が一致し、実施に至ったものです。

※ 国際バルク戦略港湾

産業の国際競争力強化を目的として、バルク貨物（石炭、穀物など包装せばら積みされる貨物）の大量輸送の実現とそれによる物流コストの低減に向け、国内の港を選定し集中的に整備するもの。

2. 今後の取り組み

今後、徳山下松港・宇部港が国際バルク戦略港湾として整備され、大型船を利用した大量輸送が可能となることにより、物流コストの低減とともに共同輸送の本格運用の実現性も高まるものと考えています。両社においては、今回の取り組み以外にも、引き続き、協議会のメンバーと協調して、両港を活用した企業間連携を検討して参ります。

3. 協議会メンバーが関わる海外炭共同輸送実績（平成29年10月19日現在）

〈宇部興産、中国電力による共同輸送〉

積 地	インドネシア・サマリンダ沖
揚 地	宇部港
出 発 日	平成26年12月4日
到 着 日	平成26年12月13日
輸 送 量	約7万トン（宇部興産約4万トン、中国電力約3万トン）
輸 送 船	8万トン級パナマックス船

〈宇部興産、中国電力による共同輸送〉

積 地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚 地	徳山下松港（下松地区）および宇部港
出 発 日	平成26年12月24日
到 着 日	徳山下松港（下松地区）：平成27年1月8日 宇部港：平成27年1月10日
輸 送 量	約10万トン（宇部興産約3.5万トン、中国電力約6.5万トン）
輸 送 船	10万トン級スモールケープ船

〈四国電力、中国電力による共同輸送〉

積 地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚 地	福山港
出 発 日	平成27年4月5日
到 着 日	平成27年4月19日
輸 送 量	約14万トン（四国電力約8万トン、中国電力約6万トン）
輸 送 船	18万トン級ケープ船

〈出光興産、トクヤマによる共同輸送〉

積 地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚 地	徳山下松港（徳山地区）周南バルクターミナル
出 発 日	平成27年6月2日
到 着 日	平成27年6月17日
輸 送 量	約6万トン

〈出光興産、トクヤマ、中国電力による共同輸送〉

積 地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚 地	徳山下松港（徳山地区）周南バルクターミナル
出 発 日	平成27年12月11日
到 着 日	平成27年12月27日
輸 送 量	約8万トン（出光興産・トクヤマ：約3万トン、中国電力：約5万トン）
輸 送 船	9万トン級オーバーパナマックス船

〈宇部興産、中国電力による共同輸送〉

積 地	インドネシア・タラハン港
揚 地	宇部港
出 発 日	平成28年3月1日
到 着 日	平成28年3月15日
輸 送 量	約6万トン（宇部興産約2.5万トン、中国電力約3.5万トン）
輸 送 船	6万トン級パナマックス船

〈東ソー、中国電力による共同輸送〉

積 地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚 地	宇部港および徳山下松港（新南陽地区）
出 発 日	平成28年9月15日
到 着 日	宇部港：平成28年9月30日 徳山下松港（新南陽地区）：平成28年10月2日
輸 送 量	約7万トン（東ソー約5万トン、中国電力約2万トン）
輸 送 船	8万トン級パナマックス船

〈四国電力、中国電力による共同輸送〉

積 地	インドネシア・バンジャルマシン沖
揚 地	宇部港
出 発 日	平成29年1月15日
到 着 日	平成29年1月26日
輸 送 量	約7万トン（四国電力約4万トン、中国電力約3万トン）
輸 送 船	8万トン級パナマックス船

以 上